

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'24.6

ご挨拶



同窓会会長 古谷 顯史郎

会員の皆様には、平素より同窓会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は、4年振りに在校生全員が出席しコロナ前と同様な卒業式が3月14日に行われました。各学年別の合唱を久しぶりに聞いて懐かしさと共に、感動を覚えました。今年の75期の卒業生を新会員として迎え、同窓会も新たな気持ちで今期の活動を推進したいと思っております。

今年度の同窓会総会は、7月6日(土)に小学校ランチルームで46期の幹事の皆様のご協力を得て開催させていただきます。総会後の親睦会は、コロナ前よりは、小規模になると思いますが、是非多くの会員の皆様にご出席頂き、親睦を深め、中学校時代を思い出して頂ければ幸いです。

母校の教育活動は、80周年に向けて「未来の学校プロジェクト」を推進する為、新たな学習環境の具体化に取り組んでおります。この活動は、教育業界でも注目を浴びておりますので、新たな発表に期待したいと思っております。また、これまで教育研究を行ってきた幼小中連携の延長上に未来の学校プロジェクトとのコラボレーションができるのではないかと興味をもって注視していきたいと思っております。

下校庭改修工事につきましては、大きな怪我の発生他、体育の授業(運動会の競技種目を含め)にも支障が出ております。大学に予算がない為、小学校と折半で人工芝への改修が決まりました。予定としては、夏休みに工事を行い、運動会に間に合うよう

令和六年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第46期(平成6年度卒業)

○日 時: 令和6年7月6日(土)

【受付開始】14時00分より

【第一部:総会】14時30分~15時00分

【第二部:懇談会】15時15分~16時15分

同窓会総会後の懇談会では、全同窓生と飲食やお茶を楽しみながら、歓談・レクリエーションなどを予定しています。詳しくは6月以降に同窓会のホームページをご確認ください。

竹早中 同窓会

○会 場: 竹早小学校 ランチルーム

○会 費: 一般 2,000円

ご招待 来年度担当年次の第47期の方々

皆で集まり
ましょう☆



イラスト: 加藤幸子

ご出欠ハガキの返信期限 6月25日(火)

に進める様です。予算は、総額4千万円強で中学校の負担分は、2千万円強となります。同窓会の対応は、昨年の総会で常務理事会に一任頂きましたので、未来の学校プロジェクト及び下校庭改修工事費用として総額500万円(期間5年で1年目300万円、2~5年目は、各50万円)の寄付をする予定です。結びになりますが、今後も色々な緊急出費の発生が考えられます。教育後援会「創竹会」、PTA、学校と協議を密に行って対応して参りたいと考えております。

また、同窓会の目的は、名簿の管理と会員の皆様の親睦を図る事が第一と考えて今後の活動も行っていきたいと考えております。会員の皆様のご健勝を祈念すると共に、一層のご協力とご鞭撻をお願い申し上げます。

学校生活本来の姿を

取り戻せた1年

学校長 馬場哲生



私が竹早中学校校長に着任しましてから1年強が過ぎました。2020年に始まったコロナ禍は学校生活に大きな影響を及ぼし、全生徒が集まる行事が中止になったり制限下で行われたりしていましたが、昨年5月に新型コロナウイルスが5類に移行してからは制限のほとんどが解除され、行事もフルバージョンで行うことができるようになりました。

5月には全学年で2泊3日の校外学習が、9月には運動会が、そして11月には文化研究発表会と合唱コンクールが開催されました。運動会での元気いっぱいの声援や、合唱コンクールでの美しいハーモニーを聴きながら、学校生活が本来の姿を取り戻せたことの喜び、有り難さを強く実感しました。

3月の卒業式、そして4月の入学式もとても良い式典になりました。昨年の卒業式では、生徒は3年生のみの参加でしたが、今年は1・2年生も参加し、先輩の門出を惜しみながらも心を込めて祝福しました。1・2・3年生の順に学年ごとの合唱も披露され、学年が上がるにつれて表現の豊かさが増していったのが印象

的でした。1・2年生も、自分たちの卒業時には今年に負けない合唱をしたいと思っただけではないでしょうか。入学式も、昨年は新入生のみでの参加でしたが、今年は全学年が参加しました。新入生は先輩たちにあたたかく迎えられる喜びをかみしめ、2・3年生は上級生としての自覚を持つことができました。

竹早中学校の目下の大きな課題は施設改修です。施設の老朽化から大規模修繕の必要な箇所が増えてきました。特に下校庭は劣化が進み、滑りやすく危険な状態となっており、修繕が喫緊の課題となっておりましたが、後援会・同窓会・PTAの皆様のご支援により、今夏に改修工事を行うこととなりました。心より感謝申し上げます。リニューアルされた校庭を9月の運動会で皆様にお披露目すべく、工事に向けて準備を進めております。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

桜舞う始まりの時

副校長 森 顕子



「空が水色！桜がピンク！きれいだねえ」さらさらした弾むような声に、思わず私も桜の枝々を透かして空を見上げていました。今年は、桜の花びらの舞う中で入学式を迎えることができました。前日の花散らしの雨がけっこう激しかったので、すっかり落ちてしまうのではないかと心配しておりましたが、すっきりとした青空の下、吹く風に桜色に揺れる空気は、新入生の笑顔に相まって、幸せな春の風景となりました。

日頃より子ども達の教育への大きなご支援をいただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

久しぶりに、新入生である七十八期生を、在校生が同じ場所で迎えることができ、三年生の歓迎の合唱が体育館に響き、新入生を包み込みました。「春に」(谷川俊太郎作詞)は、いつの頃からか、入学式に引き続き行われる対面式で、三年生が歌う歓迎の合唱として定番となりました。実際には、卒業式で、竹中を継承する二年生としてこの歌を三年生に贈っています。しかし、卒業生に向けて歌う思いと、新入生に向けて三年生とし

て歌う思いが、それぞれの合唱にあらわれていたように思います。「この気持ちは何だろう」「あの空の青に手をひたしたい」「まだ会ったことのないすべての人と会ってみたい 話してみたい」新入生の心に刺さる歌詞が、先輩としての思いを載せてしっかりと新入生の心に届いた、そんな合唱でした。

自分の思いを、的確に相手に伝えることは言葉の大切な役割です。しかし、「歓迎するよ」といった具体的な言葉を用いずとも「春に」の歌詞を通して、言葉尽くすよりもかえって思いが伝わるところもあります。

不易と流行は竹中の両輪であります。このたび、ホームページを全面リニューアル致しました。不易の部分と言える本稿と、未来の学校を期しての学習環境の整備等の流行の部分とを魅力的に発信しております。ぜひご覧ください。これからも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

新任・退任の先生挨拶

●退任あいさつ

石戸谷浩美



26年前、赴任した年は改築2年目の新しい校舎で、自由な校風と好奇心旺盛な生徒たちに出会い、ずっと幸せな時間を過ごしてきました。校舎はあちこち修理が必要ですが、受け継がれた校風は基本的に変わりません。新海先生から引き継いだ「人間倶楽部」では、火おこしやそば打ちを楽しみ、2009年にはテレビ放送されました。多くのみなさんに支えられて、ここまでやってこられました。今年からは非常勤講師ですが、今後ともどうぞよろしく願っています。

●新任あいさつ

八木望美



今年度より竹早中学校へ参りました八木望美と申します。担当教科は理科です。部活動はオムニサイエンス部です。授業では、沢山の考えが飛び交い、思いがけない方向へ探究が進み、とても生き生きとした授業を経験させて頂いております。このような場で過ごせる事とても嬉しく思っております。保護者の皆様、同窓会の皆様のお力添えを様々なところで頂くことと思っております。精一杯頑張ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

同窓会総会報告 (令和5年10月14日開催)

令和5年度の総会・懇親会は、「各方面で活躍している45期生をご紹介します」というテーマで企画を行いました。コロナ禍のような制限も解除という事で、軽食も提供しながらの演奏会と、45期の仲間から寄せられた景品をくじ引きでお持ち帰りいただく交換会を行いました。大森暢子さん(ピアノ) 紀倫子さん(歌) 平野有紀さん(フルート)の3名による素敵な演奏の後、交換会では皮膚

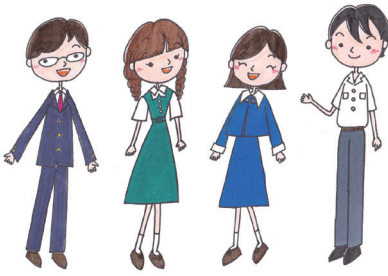
科のクーポン、アクセサリ、その他ハンドメイドのバッグや文具等、多数の景品が集まり会場も盛り上がりました。また、今回の記念品として作成した「フジモリパン」をモチーフにしたポーチや、校章入りブックカバーを全員にお配りしました。

卒業時に決めた幹事のうち2名が海外在住という前途多難な45期でしたが、有志メンバーも加わり、オンラインで打合せを重ね、無事に開催する事が出来ました。担任の佐々木先生、阿部先生、荒井先生、伊藤先生全員にもお会いすることが出来、学年幹事の機会をいただいた事に感謝しています。

(45期 田崎和子)



ここに励みて 勤しみ集う



タイトル字：佐久間朋子
イラスト：岩間 敦子

私たち46期生が1995年に卒業して30年がたとうとしています。皆様が登場していた未来と、今生きている現在と、様々な思いが巡る長いようで短い時間だったのではないのでしょうか。30年という節目に際し、この学年を温かく見守ってくださった担任の先生方からメッセージを頂きました。当時に思いを込めながら、皆様の竹早中学校の思い出の一つでも多く思い出していただけたら幸いです。総会当日は先生方や同窓、先輩後輩の皆様にお目にかかってあの時のように語り合ひましょう。

懐かしい思い出

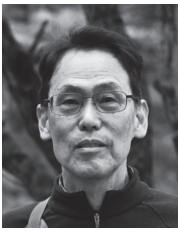
川崎 正夫

今、君たちとともに過ごした日々を、懐かしく思い出しています。あれから30年もたったのですね。

桜が満開の入学式から、校舎改築が始まったところに行われた卒業式までの3年間。それは、君たちが、子供から大人へと、大きく変わる大切な時期でした。うれしいことと悲しいこと、達成感と心配、楽しさとつらさ、希望と不安をたくさん体験したと感じた人が多かったのではないのでしょうか。

私もそうでした。もちろん、教師としては、君たちが、自分の力で、自分の能力や個性をできる限り伸ばしていけるように、手を添えたいと考えていました。

そのあと、竹早は新校舎が完成し、制服も変わりました。君たちも、いろいろな出来事があったことでしょう。私は古稀を過ぎました。今は「元気にのんびり、そして楽しく」をモットーに過ごしています。君たちも、体を大切に、これからも、ますます元気で活躍されることをお祈りしています。



を祈り
しています。

46期の皆さんとの思い出を 振り返る

勝岡 幸雄

竹早中学校に
赴任してから、
35年が過ぎまし
た。あの頃、緒に
学校生活を送っ
た皆さんが、こう



して同窓会の記念行事に携わる年齢になっていることを知り、懐かしさのあまり当時の思い出を振り返っていました。

71期1年生
点描画スケッチ

思い返せば、皆さんと一緒に新しいことにチャレンジした3年間で、1年生では理科点描画スケッチを本格的に始め、現在まで続く「理科展」の礎ができました。



2年生では「鎌倉絵巻」の制作、3年生では修学旅行で初めてタクシーを活用し、「京都絵巻」の制作・文化研究発表会での展示に取り組みました。皆さんの想像以上のポテンシャルが、私に良い思い出を残してくれました。そう言えば、私は運動会も担当していました。皆さんの協力で、大成功を収めたことも忘れられません。

最後に、先述した点描画スケッチを、竹早小学校・中学校以外でも実践する機会がありました。皆さんが与えてくれた自信があったからです。最近の点描画スケッチを掲載させていただきます。

International phone call

林 正太

46期生の皆さん、本当にお久しぶりです。ミツエル奈歩さんから昨年末にご連絡をいただいた以来、お会いできることを楽しみにしていました。皆さんの先輩である41期生を送り出した10日後に、3年間の海外勤務に出発しました。勤務が終わろうとしている1993年の2月末に国際電話がありました。学年主任の川崎正夫先生の声でした。「林さん、川崎です。お久しぶり、元気ですか。」純ジャパ?の川崎先生が、国際電話をかけてこられたと一瞬、驚きました。川崎先生の話に今度は私が驚きました。中山聡子先生が富山に行かれることになったので、46期の担任を引き受けてほしいという内容でした。ちょっと時間がほしいという気持ちはありませんでしたが、声が勝手に「はい、YES」と喋っていました。

3月末に帰国をして、これまた10日後が始業式でした。確かに体という物体は竹早中学校2年C組に存在していましたが、心はまだ帰国途中のハワイ上空をやつと通過中という心体分離状態でした。しかし、あの賑やかなC組のメンバーが心も超スピードで竹早中学校に戻してくれました。これが46期生との出会いのエピソードです。当日、皆さんとお話できますことを心待ちにしています。



竹早中学校を思い出すと何とも懐かしく胸がいっぱいになってしまいます。

昭和41年〜平成11年まで33年余り通い続けた事になります。ほんとうにお世話様になりました。卒業の学年を8回受け持たせていただき、重責を感じながらせいっぱい応援したと思っと思っていますが、何といても生徒達が屈託なくよく頑張り、自分の進路を切り開いて卒業して行きました。立派だったうれしく思っています。

今回、46期生が同窓会幹事という事ですが、卒業後30年経っているのに気持よく集り、開催への準備をしていると伺いました。

この学年の方達はとりわけ元氣よく、自由で闊達、時々脱線もするけどよく遊び、また遊びそしてよく学ぶ姿勢で竹中生活を満喫していました。三年間の成長は著しく、原石が磨かれて輝き始めて来たという感じでした。

そして今45歳、働き盛り、多忙な毎日ですね。各分野のリーダーとして世界中で活躍されていると聞いています。よき家庭人としても子育て、家事担当と男も女もごく普通にやっていますよね、卒業アルバムのかわいい笑顔から素敵な宝石になっている皆様を想像しています。

最後になりましたが、竹早中を愛し、いつまでも見守って下さっている同窓会の方々に厚く御礼申し上げます。

P.S さて私、ヘタヨロ期に入っていますが、絵手紙もどきを描いたりして何とか自立して暮らしています。



誰かに絵手紙出そうかな…。

46期 思い出あるある

どっかの天井が授業中「ドーン」剥がれ落ちたあれ授業中じゃなかったら危なかったな！

池田先生の授業は謎のクーポン制

修学旅行のときの「夜活」懐かしい！夜活って竹早ワードだった後で知った(笑)

福バ、あっ福岡先生から「学習不足」ってすごいタイトルのスタンプよく押されたwww

校長先生に「残念でーしたー」って週刊ジャンプよく没収された！

折り紙の出現率高い山中先生の授業。。。20面体とか作ったな。。。

柴田先生と言えば、アキレス腱断裂！「Cat's」の振付け！

女子水着の紐がねじれてると直してくれる優しさ♥

忠明先生は「国歌斉唱」とは言うけど歌わない💧

行事で体育館使うとき、ひとまずやることはハトの追い出し。

勝岡先生が配るプリントはいつも手書き★ノートに綺麗に貼ることが目標★

合唱コンクールのときは公園とかで夜練した。

令和6年度 同窓会常務理事

会長	古谷 顕史郎	13
副会長	松岡 隆司	14
	村上 一路	13
顧問	二瓶 好正	7
	田中 元次	2竹
	三嶋 明	13
監事	安井 肇	19
総務部	白江 千治	26
	白石 英行	31
	神沼 厚史	40
事業部	田中 充	29
	野島 雅	41
	高島 裕	36
広報部	田上 陸美	33
	田近 孝之	43
名簿部	山田 敏晶	40
	永井真知子	19
会計部	正野 敬子	19
	石黒由香里	26
	田崎 和子	45

常務理事 選出のお願い

同窓会理事会は、常務理事の募集をしております。理事会名簿でもご覧頂ける様に、様々な年代の方々が、色々な部会で、活躍しております。

同窓生の一番の宝は、「共に学んだ友」

と「帰って来られる母校」の二つです。同窓による一種の共通の価値観を持っていると思われる様々な年代、キャリアの方々と語り合えば、刺激的で且つ興味深く、是非同窓会の活動にご参加下さい。新しい事に一歩踏み込まれてはいかがでしょうか？ご参加を、いつでもお待ちしております。

同窓会部活動援助金について

同窓会部活動援助金につきましては、今年度は次のような備品に使わせていただきます。

- 冷蔵庫用バッテリー（卓球部）
- ビブラホン（吹奏楽部）
- 全国大会補助・ユニフォーム代、交通費等（水泳部）
- 2B 鯨井あぐり（香川大会）
- 関東大会補助・ユニフォーム代等（水泳部）

1D 市川奏未・松本理歩（東京大会）
部活動の活動も以前に戻り、運動部も大会の参加に向けて練習を行っております。文化部につきましても、個性豊かな活動が先生方によって支えられています。例年、御支援を賜り、感謝申し上げます。

今後とも引き続き、部活動に対する応援、ご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

維持会費同窓会支援寄付金 ご協力をお願いします

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもってこれにあてる（同窓会会則22条）。

維持会費は、毎年2000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。

なお、払込人住所氏名欄の住所・氏名・卒業年次の記入をお忘れなく（毎年払い込みください）。

2022年1月17日以降、ゆうちょ銀行の通常払込み（払込取扱票による払込み）を現金でお支払いの場合には料金（110円）が追加でかかるようになりました。ゆうちょ銀行の通帳、カードでお支払いの場合は、追加料金110円はかかりませんので御案内申し上げます。

教育後援会 創竹会から

創竹会副会長 高島 裕
同窓会会員の皆様には平素より創竹会の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

創竹会は国立大学の法人化に伴い大学から付属学校への予算（附属学校教育研究費）が減少する中で、高い教育環境の維持を支援してゆく仕組みとして

2001年に発足いたしました。

同窓会の皆様には、4年後の創立80周年事業に向けた「特別寄付」へのご高配を賜り、更なるご支援をお願い申し上げます。

「特別寄付」制度概要

1 目的
東京学芸大学附属竹早中学校の教育の振興・充実等のため。

2 募集対象
全校生徒保護者、同窓生、賛助会員、一般（希望する個人・法人）

3 受付期間
通年の募集

大学からの「寄付領収書」発行手続きに時間を必要するため、毎年（1月～12月）確定申告に必要な「寄付領収書」発行につきましては、9月30日をもって締め切りとさせていただきます。

4 受付金額

1口10,000円（一口以上、何口でも結構です）

5 支払方法

ゆうちょ銀行振込

同封の「竹早中学校教育後援会（特別寄付用）」と表記のある振込票を必ずご使用下さい。振込手数料は誠に勝手ながら各自ご負担願います。

※大学からの領収書が届くまで、振込受領書を大切に保管して下さい。

総務部より

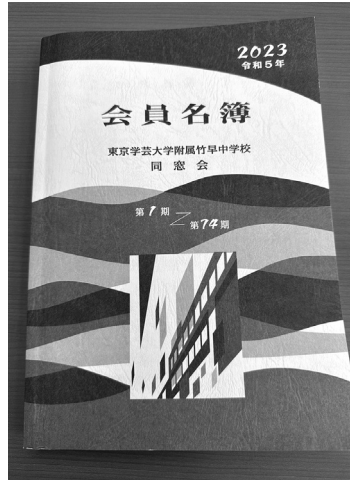
■同窓会名簿販売について

創立75周年を記念した「2023年版同窓会名簿(冊子版)」を作成致しました。

同窓生の交流を図るツールとして、振込用紙よりお申し込み下さい。

なお、今回より電話番号の記載はありませんのでご了承下さい。

2023年版同窓会名簿(冊子版)
価格5000円(名簿代+送料+R6
年度維持会費)



■名簿デジタルデータ更新について

①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。

②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会総会返信葉書にて、毎年調査を行います、変更事項について更新致します。

③随時、郵送又はメール及び同窓会ホームページより、データ提供をいただいた場合に更新致します。

・自分の住所等の変更があった時

・2023年版名簿に記載誤りがある時

・2023年版名簿に友人の空欄(消息不明)をお知らせいただける時

※なお、ご本人が公表拒否を希望されている情報は、同窓会のみ管理となります。

連絡先…

〒112-0002

東京都小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校

同窓会総務部 白石 英行 宛

E-MAIL bunkyo@mail.ne.jp

HP: www.takehaya-jhs-dousoukainet

④デジタルデータ更新は年2回(3月・9月)行います。

■同期会開催へのデータ提供について
各年次委員に限定し、提供致します。

右記の総務部 白石 英行までお問い合わせ下さい。

学校PTA文化厚生部からのお願い

今年も、文化研究発表会で制服リサイクルのコーナーを準備する予定です。引き続き、ご不用になりました制服がございましたら、クリーニングをしていただき、竹早中学校PTA文化厚生部制服リサイクル宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

2023年度会計報告

(自2023年4月1日
至2024年3月31日)

収入の部(円)		支出の部(円)	
I 前年度繰越	8,434,272	Ⅲ本年度支出	3,930,477
【内訳】		【内訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,496,892
普通預金	2,162,834	総会・講演会開催費	380,538
郵便貯金	3,190,735	常務理事会費	26,263
小口現金	80,703	総務費	227,667
		文書事務費	8,630
		郵便連絡費(2)	80,398
		慶弔費	40,000
II 本年度収入	3,359,574	卒業記念品代	165,000
【内訳】		追録作成費	83,116
新入会員会費	1,410,000	クラブ活動援助金	600,000
同窓会活動支援寄付金	721,000	技能強化支援金	100,000
		ホームページ作成・維持費	
維持会費	900,000	75周年記念CD作成費	594,214
2023版名簿売上	267,000	差引残高	7,863,369
総会その他での物品販売	61,500	IV次年度繰越	7,863,369
預金利息	74	【内訳】	
		定期預金	-
		普通預金	5,000,275
		郵便貯金	2,669,574
		小口現金	193,520
合計	11,793,846	合計	11,793,846

注:(1)送料を含む(2)名簿送料含む

2024年度予算案

(自2024年4月1日
至2025年3月31日)

収入の部(円)		支出の部(円)	
I 前年度繰越	7,863,369	Ⅲ本年度支出	6,680,000
【内訳】		【内訳】	
普通預金	5,000,275	同窓会会報発行費(1)	1,500,000
郵便貯金	2,669,574	総会・懇親会費	500,000
小口現金	193,520	常務理事会費	60,000
		総務・事業費	200,000
		文書事務費	30,000
		郵便連絡費	100,000
		慶弔費	90,000
II 本年度収入	3,100,100	卒業記念品代	200,000
【内訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,400,000	技能強化支援金	100,000
同窓会活動支援寄付金	721,000	名簿入力・追録費	170,000
		ホームページ作成・維持費	
維持会費	900,000		130,000
預金利息	100	学校への寄付	3,000,000
名簿売上	200,000	差引残高	4,283,469
		IV次年度繰越	4,283,469
		【内訳】	
		普通預金	2,050,000
		郵便貯金	2,179,097
		小口現金	54,372
合計	10,963,469	合計	10,963,469

注:(1)送料を含む

竹早中学校の今

総務部 白石 英行 (31期)

創立80周年を3年後の2027年に迎える、母校の今を報告させていただきます。

新校舎が完成したのが1997年、はやいもので27年が経過しており、今までも老朽化(減価償却)した施設の改修等を同窓会は応援してきました。75周年では体育館の床や音響設計などを実施し、快適な環境を創りました。



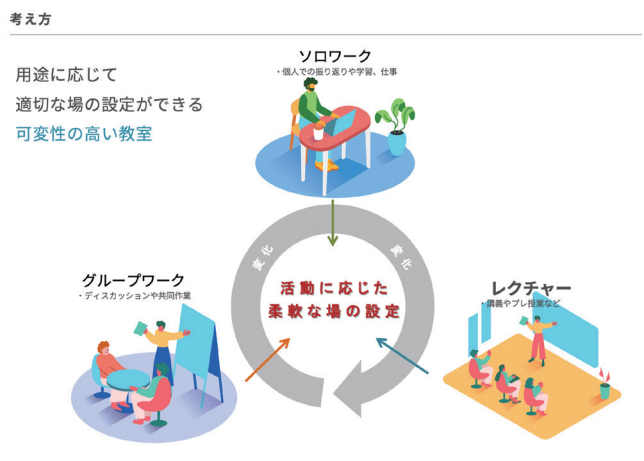
27年間の歴史を感じる校庭は、下地が向きだしになっていく危険な状態である今、学校・PTA・総竹会と同窓会が協力して本年の夏に大規模改修を実施していく予定です。(黒い部分が下地向きだし状態)

近年、学校周辺の住環境が更新される中で、校庭利用時の音について住民の方から注意を受けるようになりました。学校では、近隣5町会長との定期的な意見交換会を開催する中で、学校運営に力強



い応援を受けております。今後とも尚一層のご理解ご協力をお願いして参りますが、登下校時の生徒達の振る舞いについては永遠の課題となっております。

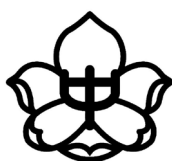
教室環境の改善として「未来の学校みんなで創ろう！プロジェクト」を立ち上げました。生徒・教員・民間企業と連携し各教室の実装を進め、今までにSUGOI部屋 [Smart Unlimited Growing Open Innovation]・Dルーム (Dream・Decide・Develop)・リソースルームを設置し、文京区立中学校でもこの制度を利用したSUGOI部屋が設置されるなど研究が進められています。今後も各教



室に与えられたニーズの改修を進め、生徒達の感性に対応していきます。

大学との連携事業では、教員養成や実習生受け入れのほかに、OECD日本共同研究プロジェクトとして、「次世代対応型教育幼小中連携モデルの研究開発」・「21CoDOMOS (21世紀のコンピテンシー育成のためのオンライン動画サービス) 配信」・「子どもの社会資源格差を乗り越える教育協働システムに関するコンソーシアム型研究開発プロジェクト(出版準備中)」などに先生達を取り組んでいます。

母校の挑戦に、同窓生の皆様のお力添えよろしくお願ひ申し上げます。



編集後記

フレッシユアアップ2024年6月号をお届け致します。

昨年まではコロナ禍の影響が残り、総会懇親会は10月開催でしたが本年からは7月例年通り開催となりました。それに伴いフレッシユアアップ発行も、準備期間のない中進めてまいりましたがなんとか無事発行することができました。

同窓会としてはたくさんの卒業生に総会懇親会に参加していただくことで多くの方々と同窓会活動を知ってもらい、交流を広げる場になればと考えております。

世代を超えた繋がりをつくるのが、母校の発展と子供たちの笑顔につながると信じています。

(田近孝之)



同窓会ホームページをご活用ください。
<http://www.takahaya-jhs-dousoukai.net/>